

**No. 21 2024年4月21日**  
**復活後第三主日礼拝**  
 説教『パウロ、アレオパゴスの説教』  
 山根真三師  
 司会 吉丸初美さん  
 奏楽 白石百合子さん  
 招詞 ヨハネ福音書15章1～5節  
 主の祈 (564)  
 讃詠 5 4 6  
 交読詩編 詩 9 6 編  
 祈禱  
 讃美歌 21 - 3 2 I  
 使徒信条 (566)  
 聖書 使徒行伝 17章 22節～34節  
 説教 (口語訳211頁、新共同訳248頁)  
**『パウロ、アレオパゴスの説教』**  
 祈禱  
 讃美歌 2 7 1(Sec.T)  
 献金  
 感謝報告  
 頌栄 5 4 0  
 祝禱  
 後奏

**次週の礼拝(復活後第二主日礼拝)**  
 説教『キリストの平和に支配されて』  
 コロサイ人への手紙3章12節～17節  
 招詞ルカ福音書19章37～38節/交読詩篇149編  
 讃美歌 546、211、21-147、541

**礼拝当番**  
 今週 21日 司会 吉丸さん 献金 高橋さん  
 次週 28日 司会 高橋さん 献金 神笠さん  
**会堂清掃奉仕 4月26日(金)**  
 午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

**本日の集会**  
 ★教会学校 午前9時45分  
 ★コーヒータン(昼食) 礼拝後～  
 それぞれの思いを語り合しましょう。  
 ★2024年度定期教会総会 午後1時～3時  
 '23年度活動報告・総括承認、同会計決算報告  
 '24年度会計予算案審議、教会役員選挙について、  
 分区全体会議員、教区総会議員の選出について。  
**教会員でない方も是非ご出席ください。**

**今週の集会/スケジュール**  
 ※めぐみ幼稚園年中長お弁当始まり 4月22日(月)  
 ※めぐみ幼稚園年中長クラス懇談会 4月24日(水)10:00～  
 §堀川恵子さんとの懇談の時 4月25日(木)10:00～16:00  
 牧師の働きと教諭師について話し合い、助言を受けます。  
 ※めぐみ幼稚園誕生礼拝 4月26日(金)10:00～

**次週以降のスケジュール等**  
 §赤木直美さん納骨式 5月3日(金)11:00～  
 於:牛田墓苑 東京からご親族の方々が参加  
 されるそうです。覚えてお祈り下さい。  
 §広島キリスト教信徒会理事会 5月7日(火)10:00～  
 会場:広島復活教会  
 ※めぐみ幼稚園礼拝 5月10日(金)10:00～  
 §広島県教諭師会理事会・総会 5月10日(金)15:00～  
 会場:広島刑務所会議室

**◎ 公 告**  
 ★'24年度広島西分区全体会 4月28日(日)  
 '23年度活動報告・総括承認、同会計決算報告  
 分区委員選挙、分区活動計画、新年度予算案  
 ★第72回西中国教区定期総会 5月21日(火)  
 13:30～22日(水)16:00 会場:カリエンテ山口  
 教区議長総括報告、活動報告、教区三役・常置委員  
 、各種委員選挙、決算報告・予算案審議他

|       |   |    |    |
|-------|---|----|----|
| 先週の集会 | 男 | 女  | 計  |
| 教会学校  | 0 | 0  | 1  |
| 主日礼拝  | 4 | 12 | 16 |

◇今週の説教要旨(復活後第三主日礼拝)  
 『パウロ、アレオパゴスの説教』使徒行伝17章22節～34節  
 パウロの宣教活動としてアテネの丘にある州議所  
 アレオパゴスでの説教が描かれている。パウロのこ  
 の説教は、日本の仏教・神道への対話を考えさせら  
 れるだろう。同時に私たちの信仰を考えさせるもの  
 でもあるだろう。そのような中である意味私たちが  
 発言しなければならないと思われるのが自衛隊によ  
 る靖国神社への集団参拝だろう。軍国主義の時代に  
 これら両者の結びつきにはとても危険なものを覚  
 えるのだ。ただパウロの説教としてはとても物足りな  
 いものを覚える。孝行さんにローマ書5章の「信仰  
 によって義とされた」以下を示した。しかしこの日  
 はいつものように乗ってこない。今年の4月の教誨  
 は重荷を負ったような状態だ。この月は事件があ  
 った月だったからなのだろうか。それらの出来事への  
 思いが彼を支配しているようだ。今回は徹底して成  
 長ということを拒絶する。今ある彼、私には大変な  
 成長を遂げた姿だと思っているのだが、彼は成長で  
 はなく、前進だと言う。しかも幼子のままで前進し  
 ているのだと。信仰によってあなたはパウロの言う  
 ように義とされているのだからと。今までとは違  
 ってこの義とされている状況への同意が乏しかった。  
 今までの彼の顔は輝いていたように見えたのだが、  
 その時の彼は重荷を担っている姿に見えた。私が前  
 進できたのは、イエスが内在してくれたからなのだ  
 と。パウロはアレオパゴスでイエスのことを語った  
 時、徹底して創造者としての神によって贖いとして  
 ご自分を捧げられた姿を示した。人々はイエスの復  
 活が語られれば、その話をありえない出来事、愚か  
 なものとし拒絶し、遠ざかった。イエスの復活があ  
 るからこそ、私たちは自分の存在、自分の罪の重さ  
 からの解放、赦しを信じるのだ。孝行さんと共にイ  
 エスの愛を共有することを祈った。それこそが私た  
 ちの喜びであり、他者への限りない愛になるから。